

山本 雄基展 Yuki Yamamoto exhibition

会期：2025年5月9日(金) - 6月2日(月) 10:00 - 17:00

*5/9のみ13時から開館いたします。

会場：板室温泉大黒屋サロン

協力：慶應義塾大学巴山竜来研究室、ファンダメンタルズプログラム

板室温泉大黒屋では、2025年5月9日から6月2日まで、画家・山本雄基の個展を開催いたします。当館での開催は今回で8回目となります。

山本雄基は北海道帯広市生まれ。北海道教育大学大学院を修了後、札幌を拠点に国内外で精力的に作品を発表してきました。彼の制作に通底するのは、「見るとは何か」「絵画はどう存在するのか」という根源的な問いです。それは単なる視覚表現の追求にとどまらず、人間の感覚そのものや意識、認知の深層へと踏み込むような探究の旅でもあります。彼の作品は、画面に何が「描かれているか」よりも、私たちが「どのように見るか」に問いを投げかけます。山本の絵画は、キャンバスに透明のアクリルメディウムを幾層にも重ね、その上に円形のモチーフを配置することから始まります。さらに、それらを反転させるように、くり抜かれた円形＝ヴォイド(Void)を重ね、また透明な層を加えていく。こうした工程を十層以上にわたって繰り返しながら、絵画は構築されていきます。主に円形を用いるのは、根源的で強い形であると同時に、できるだけ特定の意味内容を持たせないようにするためです。幾層ものレイヤーによって現れる奥行きは、平面でありながら空間的であり、イメージでありながら物質的でもあります。明確な構図があるわけではないのに、そこには秩序があり、意図を感じさせながらも、どこかつかみきれない曖昧さが漂います。その矛盾に満ちた存在が、絵画という形式を静かに揺さぶります。

山本の近年の取り組みとして注目すべきは、プログラマーとの協働により独自に開発された描画システム

「Random Circle Drawing System (RCDS)」です。これまでは、作家自身の感覚によって円の構成や配置、色彩を直感的に決定し描いてきましたが、このシステムでは、円の構成や配色が無数に自動生成され、その中から山本が自らの感覚で「選ぶ」ことで作品が成立します。完全にプログラム任せにするのではなく、「無作為の山」の中から一つを選び取るというプロセスには、直感と判断、そして視覚的倫理観のようなものが濃密に介在しています。構図や色彩といった本来作家の感覚に基づく選択を一度手放し、再びそこから選ぶという二重の選択構造は、作者性や表現の主体についての新たな問いを導き出します。“選ばない”ことと“選ぶ”ことのあいだで揺れる行為そのものが、絵画をより深く、複層的な構造へと導いているのです。

また、本展には、慶應義塾大学巴山竜来研究室との共同制作による作品も含まれます。巴山氏は、数学を専門としながらアートとテクノロジーの領域を横断する研究者です。コンピュータグラフィックスに造詣が深く、『数学から創るジェネラティブアート』『リアルタイムグラフィックスの数学』などの著書も執筆。情報と身体、構造と感性の交差点を主題に、インタラクションデザインやデータビジュアライゼーションの分野でも精力的に活動を続けています。

今回のコラボレーションは、*「ファンダメンタルズプログラム」の枠組みをきっかけに行われたものであり、山本の視覚的思索と、巴山研究室による数理的かつ論理的なアプローチが交差することで、感覚と知性のあわいに新たな知覚体験を生み出す試みとなっています。山本は、当館が主催していた「大黒屋現代アート公募展」の第5回(2010年)の大賞受賞作家でもあり、その後も継続的に作品を発表し続けてきました。本展では、描画システム RCDSを活用した近作を中心に、巴山研究室との共同制作を含む約20点の作品を展示いたします。

山本が近年取り組んできた多様なアプローチを一度に見ることのできる貴重な機会となります。ぜひご高覧いただけたら幸いです。

山本雄基 Yuki Yamamoto

1981 北海道帯広市生まれ

2007 北海道教育大学大学院 教育学研究科教科教育専攻美術教育専修(西洋画)修了

2012 札幌市の助成を受けベルリン滞在

現在 札幌市在住

【近年の展覧会】

2012 Parallel Circles/ MIKIKO SATO GALLERY (ハンブルク・ドイツ)

2013 山本雄基作品展 / 六花亭西3条店(帯広)

2014 作品展 / 伊勢丹新宿店アートギャラリー(東京)

作品展 / ギャラリー門馬(北海道)

山本雄基作品展 / 板室温泉大黒屋(那須塩原)

2015 Multifaceted Acts/MIKIKO SATO GALLERY(ハンブルク・ドイツ)

山本雄基作品展 / 板室温泉大黒屋(那須塩原)

2016 作品展 / ギャラリー門馬(札幌)

2017 山本雄基作品展 / 板室温泉大黒屋(那須塩原)

2018 OHNE TITEL. WENN ÜBERHAUPT,

DANN EINE HYPOTHESE: MALEREI ÜBER ÄQUIVALENTE DIFFERENZEN

/MIKIKO SATO GALLERY (ハンブルク・ドイツ)

山本雄基展 / 板室温泉大黒屋(那須塩原)

2020 PLACE OF HELLO/ MIKIKO SATO GALLERY(ハンブルク・ドイツ)

山本雄基展 / 板室温泉大黒屋(那須塩原)

2021 山本雄基展 / OIL by 美術手帖(東京)

2022 Yuki Yamamoto / MIKIKO SATO GALLERY(ハンブルク)

山本雄基 個展 / GALLERY MONMA(札幌)

山本雄基展 / 板室温泉大黒屋(那須塩原)

2024 Duality / N project(大阪)

【協力：*ファンダメンタルズプログラムについて】

ファンダメンタルズプログラムは、アート、デザイン、テクノロジー、サイエンスといった異なる分野における実験と協働を支援するプラットフォームです。

科学と美術は方法も形式も異なりますが、「普遍を求める姿勢」という点において深く通じ合うものがあるという立場から、分野横断的な対話の場づくりを目指しています。

このプログラムでは、科学者と美術家がペアを組み、仮説・実験・検証といったプロセスを共有しながら、すぐには答えが出ない問いや未定義な現象に向き合います。個人の経験や専門性を尊重しつつ、それぞれの営みに新たな回路を開くような交流と創造の機会を提供しています。

本展では、山本雄基と巴山竜来の協働をはじめ、制作と研究、感覚と構造、個と普遍が交差する実践の一端をご覧ください。
